

2007年3月17日(土) 13:00~17:00

名古屋大学環境総合館1階レクチャーホール

主催：名古屋大学災害対策室・名古屋大学大学院環境学研究科



# 津波

『写真と絵で見る一明治三陸大津波』より

- 13:00~13:10 **開会のあいさつ** 安藤雅孝(名古屋大学)
- 13:10~14:10 **津波はどうやってまちや人々を襲うのか**  
佐竹健治(独立行政法人産業技術総合研究所)
- 14:10~15:10 **津波が人々を襲った衝撃～明治と昭和の二度にわたる三陸津波～**  
山下文男(昭和三陸津波被災者、災害史研究家)
- 15:10~15:30 **休憩**
- 15:30~17:00 **パネルディスカッション**  
「津波を迎え撃つ東海地域で、私たちが今すべきこと」  
司会：安藤雅孝(名大・地震学)

出席者(50音順)(予定)：

Putri(バンダアチェ・シャクアラ大学学生・津波被災者)  
Nani(バンダアチェ・シャクアラ大学学生・津波被災者)  
石田瑞穂(海洋研究開発機構・地震学)  
北原糸子(神奈川大学・歴史学)  
木股文昭(名大・火山学)  
木村玲欧(名大・心理学)  
佐竹健治(産総研・地震学)  
高橋 誠(名大・地理学)  
田中重好(名大・社会学)  
林 能成(名大・地震学)  
山下文男(災害史研究家)



その衝撃と全貌